

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 22 日

事務事業名		県営水道受水事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040801000595
政策体系上の位置付け						単独/補助	単独	所属課	070201
政策体系	総合計画の施策名	0408	上水道の整備			主要事業		水道課	水道課
	政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり			市長マニフェスト			
	施策名	08	上水道の整備			未来PJ事業		グループ	工務グループ
	基本事業名	01	上水道の安定供給及び施設の適正管理			合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)		
	09	00	00	00	00	00	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠	水道法								

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
水道事業給水区域内の水道給水契約者に対し給水する水道水について、茨城県企業局が行う県西広域水道事業から、給水契約に基づき受水する。市内に供給する水道水について、地下水のほか不足する水量を県企業局との給水契約に基づき受水する。県西広域水道用水受水費	県西水道事務所と受水水量の連絡調整

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
県西水道事務所と受水水量の連絡調整 茨城県企業局が行う県西広域水道事業から、給水契約に基づき受水する。	年間受水量	千m3	2,727.00	2,700.00	2,700.00	2,700.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市民	桜川市の人口(行政区域内人口)	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
受水により供給量を確保する。	給水人口	人	39,626.00	39,650.00	39,382.00	39,382.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	407,430	409,712	408,384	0	0
	事業費計(A)	千円	407,430	409,712	408,384	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人	5.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	14.50	30.00	30.00	30.00	0.00	
	人件費計(B)	千円	42	87	87	87	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	407,472	409,799	408,471	87	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	16 原材料費	409,712		16 原材料費	408,384	
	合計	409,712		合計	408,384	

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	原管水道受水事業	事務事業No.	40801000595	所属課	水道課
-------	----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 水道事業の拡張に伴い不足する水源の確保について、県が行う水道用水供給事業に参画し、必要とする水道水の供給受水を開始した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特にありません。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う 漏水を早急に修繕することが得策であるが、漏水場所を発見することがむずかしい。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 市民が安心・安全な生活を営む上での基本となる上水道の安定供給に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 市町村単独では、新たな水源としての水利権の取得ができない状況である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない 一日または年間の給水量については、水道使用者の使用状況に応じて変化するので、水道事業者から給水量を削減することはない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 水道水の安定供給ができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 余地がない 地下水のほか不足分を補う水源としては、県からの受水しかない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がある 県から受水して使用者に供給するまでの間で起こる漏水を早急に修繕し有収率を上げる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 適当な受益者負担となっている。(平成18年度より、旧町村単位での水道料金を統一し市内同一料金としている。)

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 一日または年間の給水量については、水道使用者の状況に応じて変化しており、水道事業者から給水量を削減することはない。よって県からの受水量についても給水状況に応じて受水することとなり必要とする水量を受水しないときは断水を生じる。
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 ( <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) 成果マトリックス: コスト: 削減, 維持, 増加 成果: 向上, 維持, 低下 マトリックス内容: 向上-削減: <input type="checkbox"/> 向上-維持: <input type="checkbox"/> 向上-増加: <input type="checkbox"/> 維持-削減: <input type="checkbox"/> 維持-維持: ○ 維持-増加: <input type="checkbox"/> 低下-削減: <input type="checkbox"/> 低下-維持: <input type="checkbox"/> 低下-増加: <input type="checkbox"/>
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 漏水を早急に修繕することが、得策であるが、漏水場所を発見することがむずかしい。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---